

あなたと市政の架け橋に！松本市議会 定例会 2024 秋冬号 神津ゆかり 一般質問 Q&A ダイジェスト

2024.6月定例会件名と要旨

- 1 気持ちよく深呼吸できる香害対策
(1)現状と対応について (2)対応強化の必要性について
(3)無香料・フレグランスフリーポリシーについて
- 2 子どもの成長と発達をつくる給食
(1)学校給食について (2)保育園給食について
- 3 子どもがまんなか・子どもが主人公のまちづくり
(1)子ども若者の居場所、遊び場について (2)子ども若者の居場所、遊び場の今後の方向性 (3)子ども専用遊び場プレイパークの整備について

気持ちよく深呼吸できる香害対策

神津 洗濯洗剤や柔軟剤、様々な消臭スプレーなど、香りつき商品が身の回りにあふれ、香り成分が肌や衣服、頭髮等に付着し、香りを放ち続ける。香りで体調を崩したり、化学物質過敏症発症の起因になると指摘されている。重症化し、外出できず仕事や学校、医療機関に行けない、日常生活が送れないという方も。これまでの、香害の相談人数、訴えの内容と対応は？

部長 相談は1件。対策を求める意見が4件、図書館で香水の匂いにより具合が悪くなったとのお手紙が1件。1名のお子さんが化学物質過敏症のため、学校で、一定の配慮を受けている。公共施設では、5つの省庁が共同作成したポスターを活用し、香りで困っている方がいることの啓発をしている。本市 HPで、自分には快適な香りでも不快に感じる人や体調を崩す人がいること、多くの人が集まる場所での香料の使用を控えるなどの配慮のお願いを掲載する。

市立保育園ご飯持参について

神津 保育園では、3歳以上児の場合、給食のご飯を家庭から持参する。毎朝ご飯を炊き、弁当箱に詰め、冷まして持たせるといった一連が大変で、ご飯も保育園で出してほしいと保護者から意見をいただいた。主食について、アンケートがあったようだが結果は？

部長 保護者 3,411世帯を対象に、3歳以上児に主食の提供を行う場合の提供方法、費用、支払い方法などを提示した上、アンケートを実施した。結果は、回答数が2,049世帯、回答率は60.1%で、主食の提供を「希望する」と回答した世帯が30.2%、「希望しない」と回答した世帯が69.8%だった。

神津 炊き立てのご飯を提供すると、子どもの食欲がよくなった、炊き込みご飯や混ぜご飯など、献立のバリエーションが増える、朝の保護者の負担軽減につながるなど、多くのメリットがある。自園施設での炊飯提供について、ぜひ検討を。

子ども若者の居場所・遊び場の充実を

神津 ダンスやバンド練習、スケートボードなどのアーバンスポーツができる公共の場所はどこ？

部長 中央、南部、島立各体育館、決められた日時で、スポーツやダンスができる。ダンスはほかに、エア・ウォーターアリーナ松本、市民芸術館、中央公民館、庄内地区公民館。バンドや楽器練習は、市民芸術館、音楽文化ホール、波田文化センター、中央公民館、庄内地区公民館、松南地区公民館。アーバンスポーツは、エア・ウォーターアリーナ松本と波田扇子田運動公園でスケートボード、インラインスケート、BMX。梓川ふるさと公園では、スケートボード、壘球記念公園では3X3、バスケットゴールは6か所。

神津 Mウイングなどの施設に音楽の練習ができる場所を用意できないか。

部長 女性や若者に選ばれるまちを目指す松本市として、若者が気軽に公民館を利用し、音楽を楽しむことができる環境を整え、松本のまちをもっと好きになってもらえるような様々な工夫をしていく必要がある。ニーズを把握し、希望に沿う形で、若者が利用しやすい充実策を検討する。

神津 子ども、若者が自己実現できる場所の整備拡充について、考えと今後の方向性は？

市長 子育て世代や若者世代から幅広く意見を聞いて多様なニーズを把握した上で、季節や天候に関係なく遊べる場、若者が集まって楽しめる場の設置を検討していきたい。具体的には、波田扇子田運動公園の移転に併せ、スケートボード、BMX、インラインスケート、クライミング、3X3などのアーバンスポーツの施設を来年度までに新たに整備する予定。アーバンスポーツ施設は、浅間温泉、美ヶ原温泉等の、健康・スポーツ地区を念頭に、整備を検討する。比較的大きな屋内の子どもの遊び場については、町なかの近いところにあることが望ましいと考えており、中心市街地の再設計や公共施設の再配置と連動させて、検討したい。



▲楽器、アンプが備わっている音楽練習室。市民や学生に安く貸し出す。視察先の紫波町にて撮影



定例会一般質問や委員会の会議録や一部動画は松本市議会ホームページからご覧いただけます。

2024.9月定例会件名と要旨

- 1 性被害から子どもを守るために
(1)性被害から子どもを守るための対策の現状 (2)市立中学校の部活動外部指導者の不祥事 (3)対策強化の必要性
- 2 子ども若者がまんなかのインクルーシブ社会
(1)放課後児童健全育成事業 (2)インクルーシブセンター
(3)市児童相談所設置の可能性 (4)市立特別支援学校
(5)インクルーシブ公園および居場所開設支援について
- 3 みんなの国宝松本城とは
(1)国宝松本城四季のイベント (2)月見櫓
(3)旧博物館跡地 (4)みんなの松本城

性被害から子どもを守るために

神津 対策強化が必要。子どもを性被害から守る条例が必要では？

市長 松本市子どもの権利に関する条例の改正に向けて、長野県の条例も参考に具体的な条文の内容を検討する。

神津 次世代サポートユースセンターの設置ができないか、見解は？

市長 子どもの権利相談室こころの鈴は、交友関係・家族関係・学校関係の様々な悩みや相談に応じ、内容によっては救済の役割も担う。まちかど保健室は、子どもの心と体、性の悩みについて面接の相談を行う。中学校部活動の地域クラブへの移行に伴い、スポーツや文化の分野まで幅広い対応が必要で、子どもの権利擁護委員の増員を検討する。

市立特別支援学校の検討状況は？

神津 市立の特別支援学校の検討状況は？

教育監 教育委員会内にプロジェクトチームを立ち上げ、設立に向けて必要な情報収集、検討事項の確認、様々な機関との意見合せや情報共有等を進めている。市立特別支援学校は、新しく敷地と建物を用意し分離した学びの場をつくるのではなく、既に市内にある小学校に併設する形を考えている。須坂市立須坂支援学校のように、通常の学級、通級指導教室、特別支援学級及び特別支援学校のそれぞれの子どもが行き来することができ、多様性を認め合うインクルーシブな教育環境を整備したい。対象とする障害は、知的障害を想定している。



▼障がいのある子ども遊べる遊具を備えたインクルーシブ公園。視察先の岡崎市にて撮影

▲インクルーシブセンター（松本市双葉・なんぶくプラザ内）は2024年4月開設。発達障がいや発達に心配のある子ども、医療的ケアが必要なお子さんなどを継続して総合的に支援していくためのセンター。写真はプレイルーム

